



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部44円
題字 井戸知事

火は見てる
あなたは離れる
その時を

平成十九年度 第一回女性消防団員研修会 実施

兵庫県消防協会

平成十九年度第一回女性消防団員研修会が平成十九年七月十四日(土)に神戸市灘、神戸市中央、神戸市北、神戸市須磨、神戸市長田、尼崎市、芦屋市、加古川市、播磨町、神河町、小

野市、豊岡市出石、香美町及び丹波市、各消防団の女性消防団員四六名参加のもと、兵庫県立広域防災センターにおいて開催されました。

当日は台風四号の接近により、午前10時に開始した研修会は無事全てのスケジュールを終えることができました。まず、午前の部では消防団員確保アドバイザーである福岡県



第1回女性消防団員研修会



活動事例発表

立花町消防団長の松尾広寿さんより「女性消防団員の確保について」の講演をいただいた後、豊岡市出石消防団、丹波市消防団が活動事例発表を行いました。他団の活動内容を見直す良い機会となったのではないのでしょうか。

また、昼食は交流会を兼ねており、他団の方々と積極的な意見交換が行われたようです。午後からは場所を屋内訓練場に移し、消防学校教官指導の下、訓練礼式、小型ポンプ放水訓練やAFT訓練を行いました。女性団員の方々も時折笑顔を見せるなど厳しくも充実したものとなりました。

研修会を終えた後の感想でも訓練礼式やAFT訓練、放水訓練など実技に関する意見が多く、応急手当や救護研修を行ってほしいという意見も聞かれるなど、参加者の意識の高さが伝わってきました。

今後の女性消防団員の活躍が期待されます。この研修会は、講演、活動発表及び実技訓練等を通して研鑽を積み、他の消防団の女性団員



訓練礼式



放水訓練



小型動力ポンプに奮闘

新コーナー われら若手消防団員

一人前の団員を目指して!

神戸市東灘消防団
本庄深江分団
深山 逸平

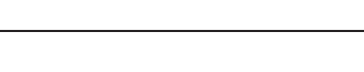


神戸市東灘消防団本庄深江分団は、神戸市の最東部を管轄しており、市街地や沿岸さらには林野まで多岐に渡り訓練を重ねています。

私は、平成十八年一〇月の入団以来、定期訓練や地域の防災訓練、そして中学生の市民救命士指導と経験が少ないながらも、

精一杯頑張っています。入団のきっかけは、以前から地元のだんじり運行の仲間に分団長をはじめ、数名の消防団員が在籍しており、ある日分団長より「欠員が出るので、入団しないか」と勧められたことです。

入団にあたっては、迷いもありました。以前から人命救助に興味があり、市民救命士講習も幾度か受講していたものの、レベルの高い訓練や実際の現場活動が自分に務まるのかという不安と災害時の家族の存在です。しかし、入団を決意させたのは妻の「災害時、家は私が守ります」の一言でした。



「加東市 女性消防隊誕生」

加東市消防団長

吉田 繁



加東市消防団は、平成十八年三月二〇日、社町、滝野町、東条町が合併して、七五分団、団員数一、二六二名、車両七七台の体制で発足いたしました。合併から二年目を迎え、加東市消防団組織もようやく軌道にのってまいりました頃、今年の一〇月に横浜市内で開催される第十八回全国女性消防操法大会に、北播磨地区から加東市の女性消

防隊が兵庫県代表として出場することにいたしました。

これを受けて、加東市も新たに女性消防隊を結成し、消防団のバックアップと消防職員の指導のもとに、一〇名の女性隊員が全国大会に向け、六月からポンプ操法の練習を開始いたしました。

最初は、消防の基本動作を身につける訓練から始めて、現在は軽可搬消防ポンプを用いた本格的な操法練習に取り組んでおります。

慣れない言葉遣いやホースの取扱いに戸惑いながらも、消防団幹部をはじめ消防職員の熱心な指導により、少しずつ操法の動きができるようになりました。大会まで残り少ない練習期間ではありますが、タイムにとらわれることなく、迅速・的確な操法を身につけ、全国大会で加東市女性消防隊が活躍できるよ

う応援したいと思えます。今後、加東市消防団では、この女性のもつ能力をいかして住民の防火・防災指導や啓発活動

を行うなど、女性消防隊とともに地域の防災力強化を図ってまいります。



女性消防隊練習風景

消防団今昔

41

「心構え」 洲本市消防団副団長

竹口 弘之



洲本市は平成十八年二月十一日に旧洲本市と五色町が合併して誕生した市で、消防団も合併時に統合し、現在、十七分団、一、〇〇六名の団員で地域における防火防災活動に従事しています。

歳で洲本市消防団へ入団しました。当時、分団ではオート三輪の消防車両を導入したばかりで、運転免許を持っていない団員を増やす必要があったため、分団幹部の方から私へ入団の勧めがありました。私は、消防団活動の役割の大きさを感じていたこともあり、入団することに迷いはありませんでした。

その頃は、入団しても訓練や講習も特に行われていなかったため、とにかく先輩団員の活動ぶりを見て技術を習得するのには必死だったものです。そのような中で初めての出勤となったのは山火事でした。分団管轄地域は山間部を中心に非常に広範囲に亘っており、とかく山火事が

多い地域で、その時も現場まで一時間かけ、徒歩で出勤したことを覚えております。今でもそうですが、山火事の場合、水利は乏しく、資機材も十分でない状況で放水もままならず、鉈を使いながら周囲の木を伐採して延焼拡大の阻止に努めるばかりでした。

また、当時の分団の気質といえますか、とにかく分団間の競争心が非常に強かったと思います。とりわけ、私が所属していた千草分団は消防活動の基本である「操法訓練」への取り組みに力を入れ始めていた時期でもあり、その頃、洲本市消防団をリードしていた他の分団へのライバル心を強く持ち、雨風問わず、毎晩欠かさず練習に励んで

いたのを記憶しています。その結果、はじめて優勝を掴むことができ、分団員の技術と士気の向上へ大きく繋がったとともに、今に至るまでも市内各分団に一目置かれる輝かしい伝統を築く第一歩となりました。

さて、私の消防活動も今年で四五年目となりました。幹部団員として、有事の際、いち早く現場へ駆けつけ、現状への即応と状況予測を備えた行動を常に心掛けています。特に幹部の決定は団全体の評価に直結することから、その重責を感じつつも、歴史と伝統ある洲本市消防団の名を汚さぬよう精一杯努めているところです。

今日、災害はいつ起こってもおかしくない状況であり、地域の人々を守る者として、安心して暮らせるまちを目指して精進していきたいと思えます。

地区通信

「水防訓練」 稲美町消防団

稲美町は播磨平野東部に位置し、東は神戸市、南は明石市、西は加古川市、北は三木市に隣接する南北六・五km、東西七・九kmの総面積三四・九六kmの町です。

かつて万葉集に「いなみ野」と詠まれた台地を先人たちは切り開き、明治以降には悲願であった淡河川、山田川両疏水の完成により、ため池等でかんがい用水を確保して水田開発が進み、農耕社会を営んできました。現在では、稲穂に満ちた美しい町の基礎が築かれ、その切り開いたため池群と、田園広がる緑豊かな自然は、文化庁から文化的



稲穂に満ちた美しい町

景観に選択されるまでになりました。稲美町は、ため池の面積が町域の十二％を占めるという全国有数のため池密度を誇り、自然景観や伝統行事など固有の『ため池文化』が育まれてきました。

一方、ため池は農業用水の供給だけでなく、洪水調整機能も有していますが、水害を引き起こす危険性も併せ持っています。稲美町消防団では、平成十六年から水防訓練を実施し、その年に台風二二号、二三号の風水害が発生しましたが、訓練の成果を生かし被害を最小限に食い止めることができました。

今後は、大雨と地震が同時に発生するという最悪の場合を想定し、ため池決壊による洪水被害想定と避難対策等を考慮した水防訓練を毎年継続実施し、火災予防をはじめ水防の職務に邁進していきます。



水防訓練



被害を想定しながら実施

わがまちの団長さん

146

「安全・安心のまちづくり」

朝来市消防団

金田 正夫 団長



朝来市は、平成十七年四月一日に生野町、和田山町、山東町、朝来町の四町が合併し、誕生しました。

兵庫県のほぼ中央部に位置し、但馬の玄関口であるとともに、山陰地方と京阪神大都市圏を結ぶ交通の要衝の地にあります。総面積は四〇・二・九八㎢で県全体の四・八%を占めています。

朝来市消防団は朝来市誕生と同時に発足し、四支団、分団数三三分団、団員数一、〇三〇名、車両四八台の在所となり、現在も、従来からの出動体制を維持し、消防活動を行っています。金田団長は、昭和四三年に消

防団に入団、平成十二年から朝来市消防団長に就任され、朝来市消防団発足後は、朝来市消防団朝来支団長としてその任を務められてきました。本年四月、初代団長であった南 巧氏の勇退により、各支団幹部の推薦のもと、二代目朝来市消防団長に就任されました。

団長は、写真からも窺えるとおり、温厚で人情味溢れるお人柄ですが、火災現場などでは、自らの危険を顧みず、現場の最前列で陣頭指揮を執られ、常に冷静で的確な指示を出されるなど行動力に溢れる団長です。

現在、団組織の再編や消防車両配備の見直しなど課題も山積していますが、朝来市消防団の発展と安全で安心して暮らせるまち朝来市の実現に邁進されています。



北から南から

「歴史・自然・文化が調和する臨空都市 伊丹」

伊丹市消防団

皆さんがご存じの伊丹市は、「空港を市内に持つ、産業都市」と言ったところでしょうか。江戸時代の伊丹は酒造りのまちでした。

江戸・古川柳の世界でも、伊丹産の酒に関する句が多く作られました。二・三紹介します。さて是は伊丹入つ樽 御進物

徳利のお土産何より伊丹酒 船中でもめば和らぐ伊丹酒 当時、伊丹市周辺の酒造家達は、麴米・蒸米・水を三回に分けて酒を造る「三段仕込み」と言われる技術を開発、清酒醸造を産業として確立しました。

今日の日本酒(清酒)も、この方法によって作られており、当時の酒造業界のハイテク革命だったとも言えます。現在の伊丹市鴻池には鴻池家(伊丹市)が従来の濁酒から清酒を作ることに成功、財を成したという意味のことが記された「鴻池稲荷祠碑」が残っています。

本市の中心市街地は、今も白壁の酒蔵が残り、かつて伊丹郷町とよばれ酒造りで栄えた地として往時をしのばせています。中でも、江戸時代の酒蔵を改装した「長寿蔵」は、「清酒発祥の地」にふさわしく、地ビールとフルーティーな日本酒のマルチ体験スポットとして若いカップルや他都市から来られた方々に好評を博しています。



伊丹スカイパーク



鴻池稲荷祠碑



長寿蔵

さて、昨年七月に空港滑走路の西側に「伊丹スカイパーク」がオープンいたしました。これは、航空機騒音を和らげる緩衝緑地として国と兵庫県、伊丹市の三者が協力して平成五年から整備していた公園です。今はまだ一部(全八・六ヘクタールの内三・八ヘクタール)しかオープンしていませんが、平成二〇年の全面オープンに向

けて整備が進められています。園内の丘の上からは伊丹空港の滑走路が一望でき、航空機の離陸・着陸とも迫力ある光景が間近で見られます。夜には、滑走路やその向こうに見えるターミナルビル、そして日が暮れて飛び立つ航空機の灯りの軌跡など、美しい夜景が楽しめます。読者の皆様にも、是非一度伊

「くんにはひょうごの消防団です」をチェック。兵庫県消防協会

みなさん、兵庫県消防協会のホームページをご覧になったことがありますか？

県下の消防団や消防団に係る行事を紹介しており、内容も平成十三年の開設当初より充実したもとなっております。

しかし、開設から五年を経過し、情報が更新されていないものや、合併後の消防団のページが開設されていないところもあります。すかさずご自身の地区の消防団をチェックしてみてください。

内容は各消防団の自由です。全国の閲覧者に自らの活動を伝え、新入団員獲得にアピールできるチャンスでもあります。また、Free Talk掲示板を利用し、他の消防団の方



このように当ホームページを有効にご活用いただき、兵庫県の消防団を盛り上げていきましょう。なお、分団規模でホームページを開設されている場合もリンクさせることが可能ですし、個人での寄稿も受け付けております。各消防団のホームページにあたっては、ワードファイルにイメージを作成していただきますと、その通りに開設・更新いたしますので、どしどしご連絡ください。

地 区 通 信

「ポンプ操法大会に向けて」

新温泉町消防団

新温泉町消防団は平成十七年一〇月に旧温泉町と旧浜坂町が合併し、二つの消防団が統合して発足しました。

旧町の消防団を支団としており、ポンプ操法大会は支団別に開催しています。

本年は、温泉支団は八月五日(日)に開催し、浜坂支団は防災の日である九月一日(土)に開催します。

温泉支団では八月の操法大会に向けて練習が始まりました。広域消防本部の職員から指導を受けて、選手は操法訓練に汗を流す毎日です。

梅雨時期のため、雨の日が多く、また蒸し暑い中でも選手は熱心に練習をしています。

梅雨の季節で雨の日が続く、どの分団も訓練場所の確保に苦労しています。学校の体育館の地下や大きなガレージなど、屋



梅雨のため体育館の地下で操法訓練



連日の厳しい訓練



一般競技の土嚢運びリレー (昨年)

根がある広い場所を探しますが、ホースをまっすぐ延長できる距離はなかなか確保できません。障害物を避けて、右に左に行ったり来たりと、窮屈ながらも工夫を凝らしてホース延長の訓練を実施しています。

一方、浜坂支団はお盆過ぎから練習がスタートします。お盆のゆったりとしたムードから一転して、厳しい訓練の日々がスタートです。

浜坂支団の大会には特徴が二つあります。一つは県下で唯一の空操法での競技で実施することです。空操法で実施するのは水利の確保が困難であることもひとつですが、空操法の方が基本動作を確実に習得できるからです。

この大会は毎年厳しい暑さとなりますが、選手は空操法の細かい動作を丁寧に行い、ホース

収納もある長い時間を汗でびしょりになりながら競います。もう一つの特徴は、操法競技の後に伝統行事である一般競技を行うことです。分団対抗の千メートルや土嚢運び競争、ホース延長まとめリレーなど五種目を競います。一般競技はとも盛

り上がり、近年の水出し操法のように特別に選ばれた選手が中心の大会ではなく団員全員が参加するので、団員の親睦と健康増進の一助となっています。

一般競技があることで、団員は操法の訓練と合わせて一般競技の練習も行うので全員が連日の訓練となります。

これがこの大会を操法大会ではなく、消防大会と呼ぶ由来でもありません。

操法訓練により消防技術が高まることはもちろんですが、連日訓練を行うことで団員の信頼関係と結束力が強くなることがとても有意義だと感じます。

これからも町の安全を守るため、消防技術の向上と団員の一致団結のため努力していきます。ぜひ大会をご覧いただきたいと思

編集後記

まだまだ暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では平成十九年度第一回女性消防団員研修会の結果について掲載しております。

さらに、今月号より「われら若手消防団員」のコーナーが新設されていますので是非ご覧ください。我こそはと思う若手消防団員の方の寄稿をお待ちしております。

今回の消防団今昔には加東市消防団長吉田繁さん、洲本市消防団副団長竹口弘之さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

事務局では個人での寄稿も随時受け付けております。今後とも兵庫消防をよろしく願いたします。

「こんにちは！兵庫の消防団です」

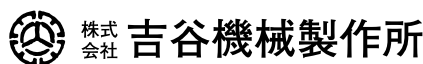


http://www.hyogoshoubou.jp/

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- 屈折梯子付消防ポンプ自動車
- 化学消防ポンプ自動車
- 水槽付消防ポンプ自動車
- 普通型消防ポンプ自動車
- 高発泡機付消防自動車
- 消防救助工作車
- 小型ポンプ積載車
- シバウラ小型動力消防ポンプ
- 各種消防用品
- 消防用ホース



株式会社 吉谷機械製作所
本社・工場 鳥取市古海 3 5 6 の 1
TEL (0857) 23-2211(代)
FAX (0857) 27-1766

美と力を備えた新しいテクノロジーが社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学するモリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003大阪市生野区小路東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山



世界へ羽ばたく！ GMの消防自動車



大槻ポンプ工業株式会社

●本社・営業本部
〒623-0021 京都府綾部市本町7丁目67-2
TEL (0773) 42-0681(代)
FAX (0773) 42-9229

消防団服

- 甲種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
- 乙種 刺子・木綿
- ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンパイホース 兵庫県特約店

株式会社 三浦消防

姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663